

つなごう! Re:Think インフラプロジェクト 新潟の未来!

世紀の大事事に関わり
「もっと経験を積みたい!」

昨年通水100年を迎えた大河津分水路では、現在「令和の大改修」が行われています。日本海へとつながる河口部を約100m広げるため、山を削り、野積橋を架け替えるという世紀の大事業で、中元組は新野積橋(仮称)の橋台背面の盛土を担当しています。入社4年目の渡部涼さん(24)は、技術者として作業の進捗具合を確認し、協力企業と連携しつつスムーズに進むよう目を配ります。「現場は日々状況が変わる。臨機応変に対応するためには、もっと経験を積まないと」。先の先を読んで準備し、予想外のことも即座に対応する先輩たちの姿を見ながら「自分ももっと力をつけたい」と前を見ます。

新しい工法に挑戦 知識と経験を未来へ

今回の現場では、新しい「エアマイルク工法」を採用。セメントと水を混ぜる際、空気を入れることで軽量化しているのだとか。「ここは地すべりの恐れがあり、その防止のために土より軽いもので盛土して道路を造るのが目的です」。渡部さん自身も初めて経験する工法で、どんな風に進むのか興味を持って現場に足を運んでいるそう。これまでは新潟東港、新潟市西蒲区の排水路など、県内各所で環境の異なる現場に関わってきました。「どの現場も、2次元の平面図が3次元の立体となっていく過程が面白い。何より、できあがった時は達成感があります」ナビゲーターのチカコホンマさんは、淡々と夢を語る姿が印象的だったと話しました。Webでは、人と現場をさらに詳しく伝えます。

わたしの体験記は
Webで見てねー!



ナビゲーター
チカコホンマ

1994年生まれ、千葉県出身。「よしもと新潟県住みます芸人」として活動するほか、「チカボン」名義でYouTuberとしても活躍。2人目のインフラナビゲーターとして未来の新潟を創る建設人をレポート!



第5回 | 安全安心の土台づくり

私たちは「Re:Think インフラプロジェクト つなごう!新潟の未来!」を応援します



株式会社曙建設 エヌシーイー株式会社 開発技建株式会社 株式会社笠原建設 株式会社キタック 一般社団法人建設コンサルタント協会北陸支部 株式会社中元組 特定非営利活動法人にいがた地域創造センター
西田建設株式会社 藤木鉄工株式会社 一般社団法人北陸地域づくり協会 株式会社水倉組

企画・制作 新潟日報社ビジネス局